
庁内アンケート・ヒアリングの実施結果について

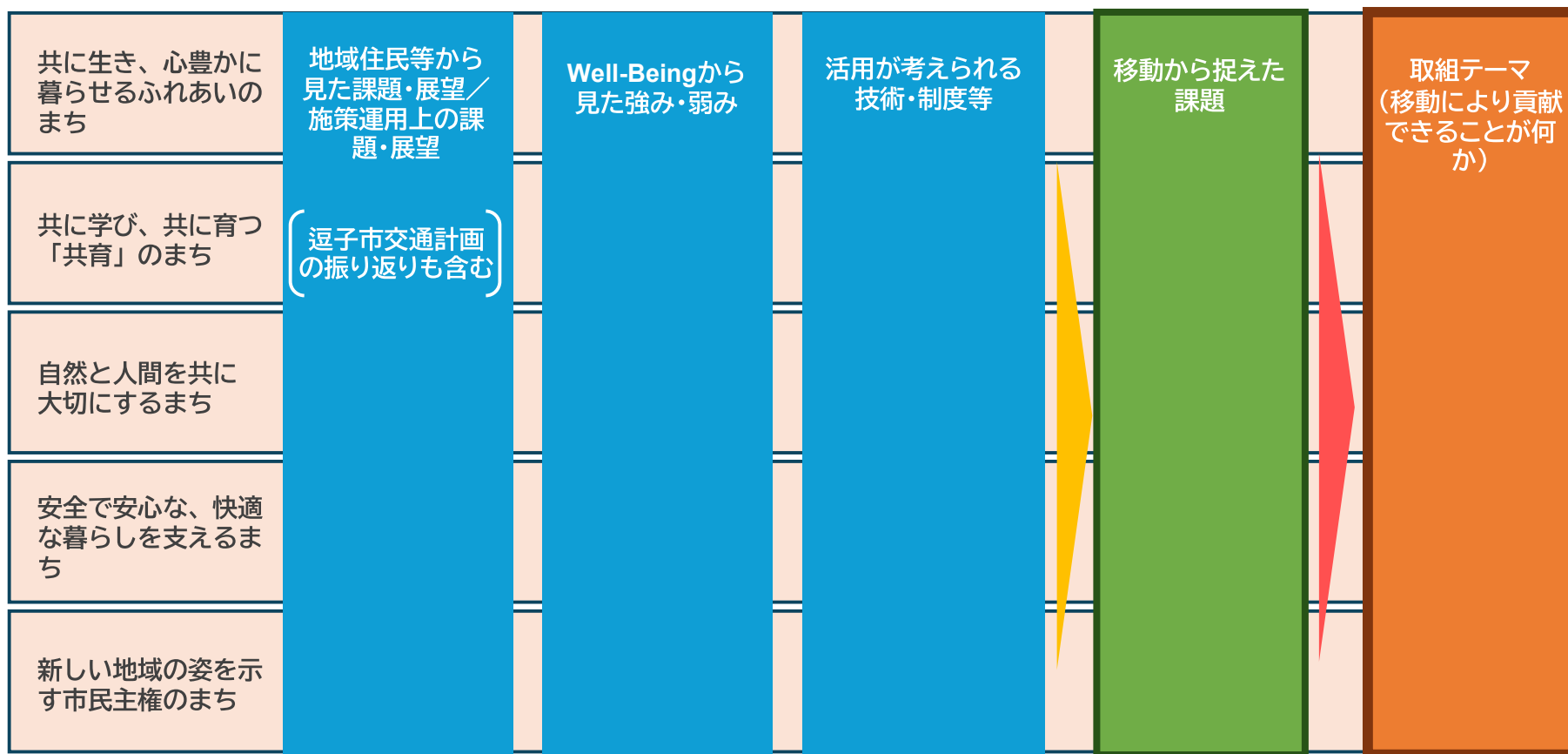


環境都市部 環境都市課

2025年7月

1. 逗子市における「移動」に関する課題

- ・ 市内ヒアリングを通じ、各部署の移動を取り巻く課題感・取組等を確認し、法定計画内で設定すべきビジョンを明確化する。上位・関連計画での位置づけを参考にしつつも、より幅広い視点で、移動が貢献できそうな領域を見出す。
- ・ 各課のヒアリング担当者に対しては、今後も継続的に報告・相談を行う予定。



市内照会・ヒアリング結果も踏まえつつ、現状分析・課題の整理に取り組む

2. 調査対象

- ・ 事前に庁内全部署を対象としたアンケート調査を実施。
- ・ 調査結果を踏まえ、特に本計画と関連の強い部署へのヒアリング調査を実施。実務に携わっており、市民との折衝の機会が多い副主幹・係長クラスへの聞き取りを実施。

部	課	主な調査ポイント
経営企画部	企画課	東逗子複合施設を検討中、ワーケーションや企業誘致等との連携
	デジタル推進課	高齢者デジタル相談会の開催、デジタル技術による移動の代替
市民協働部	市民協働課	住民自治協議会・自治会・町内会との連携、交流施設等の担当所管
	経済観光課	海業による観光振興、商工との連携、海水浴や自然の回廊プロジェクトとの連携
	文化スポーツ課	第一運動公園、池子の森運動施設、その他文化関係施設の所管
福祉部	社会福祉課※	介護予防、見守り活動との連携
	障がい福祉課※	障害福祉サービス・障害児通所支援との連携、過去にハンディキャブ運行事業を所管
	高齢介護課※	要介護・要支援の認定、福祉有償運送の登録、ふれあいパス補助事業、高齢者センター等の所管
	国保健康課	地域医療との連携
環境都市部	環境都市課	まちづくりと環境政策との連携、逗子市交通計画の振り返り
	都市整備課	道路管理者、逗子市交通計画の振り返り、都市機能の整った快適なまち推進プランとの連携
教育部	子育て支援課	子育て世帯対策、ファミリーサポートセンター事業

※印の課については、今年度実施予定の市民アンケート調査における連携・役割分担に関する調整も含む

3. 調査項目

- 所管の事業を展開する中で、市民や来街者等から寄せられる「移動」や「交通」に関する不満や困りごと、要望を教えてください。
- 所管事業のうち、「移動」や「交通」に関する取組が充実することで、更に推進が期待される事業はありますか。逆に、「移動」や「交通」が充実しないことで、滞っている事業はありますか。
- 「逗子市地域公共交通計画」の作成に当たって、所管されている事業の進捗等にあたり配慮すべき事項等(計画の中で積極的に位置付けたい事項、計画を作成する中で調整が必要な事項等)があれば教えてください。

4. 「移動」を通じて実現したい将来都市像(都市計画マスタープランとの連携)

■逗子市都市計画マスタープランにおける将来都市像 穏やかな暮らしを楽しめる自然豊かな住宅都市

■都市づくりの目標

(1) 若者、子育て世代、高齢者等、あらゆる世代にとって便利に生活できる都市

- ・ うるおいのある良好な住環境が確保されているとともに、ユニバーサルデザインにも配慮された生活に必要な機能が適切に確保され、また地域コミュニティが充実した、若者、子育て世代、高齢者等、あらゆる世代にとって便利に生活できる都市を目指します。

(2) 多様な人々が集まり、交流し、賑わいが生まれる都市

- ・ JR 逗子駅や JR 東逗子駅といった、三浦半島の玄関口であり本市の顔となる拠点において、商業等の都市機能が充実しており、市民はもとより、観光客やビジネスマン等、多様な人が集まり、交流し、賑わいが生まれる都市を目指します。

(3) 誰もが快適に移動できる都市

- ・ 地域に適した暮らしの移動手段が確保され、新たな移動手段を含む多様な交通手段を選択できるとともに、幹線道路の渋滞解消や鉄道駅を含む周辺のバリアフリー化等、誰もが安全で快適に移動できる都市を目指します。

(4) 豊かな水・みどりの自然環境が守られ、環境にやさしい都市

- ・ 逗子海岸や田越川、池子の森自然公園等の豊かな自然環境を大切にし、将来にわたって継承させるとともに、再生可能エネルギーの活用等、環境にやさしい都市を目指します。

(5) 災害への備えが充実した安全・安心に暮らせる都市

- ・ 津波・洪水・土砂災害等、あらゆる自然災害に対して、災害リスクを容易に把握できるとともに、ハード・ソフト両面からの備えが充実した、誰もが安全・安心に暮らせる都市を目指します。

■特に「移動」を通じて実現したい将来都市像(素案)

- ・ **都市像①**:老若男女問わず、移動を理由に社会参加が阻害されない都市を目指す(交通不便地域の解消)
- ・ **都市像②**:「おでかけウェルカム社会」を実現し、地域も人も元気になる都市を目指す(軸・拠点の整備・渋滞等の都市課題の解消)

5. アンケート・ヒアリング調査結果総括

総合計画の柱	政策分野	問題点や課題	地域交通との連携により想定されるアウトカム	都市像への貢献
共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち	健康・医療	- 保健センターへの移動困難により、高齢者・子育て世代がイベント・セミナー参加を見送り - 専門科の少なさ(小児科、産科、発達外来等) - 市外総合病院への通院手段不足 - 透析患者の通院手段不足 - 妊娠・出産時の移動支援不足 - 在宅診療に対するニーズの高まりと医師・看護師の移動負担	- 特定健診受診率向上による疾病予防効果 - イベント・セミナーへの参加者増による健康意識向上 - 医療アクセス改善による健康寿命延伸 - 出産・育児期の移動不安解消	①
	高齢者支援・介護	- 前期高齢者へのフレイル予防の推進 - 余暇活動・日中の居場所への移動手段不足(認知症カフェ等) - 送迎ボランティアの担い手の不足・高齢化 - 日中の福祉バスの需要変動が大きい - 通院等乗降介助事業者の撤退 - 福祉有償運送の担い手不足 - タクシー利用が困難と感じている(予約が取りにくい、アプリ操作が困難) - 移動スーパーの利用の増加	- 介護予防・フレイル予防効果向上 - 社会参加促進による孤立化防止 - 買い物・通院等の生活の質向上 - 地域包括ケアシステムの充実 - 家族の介護負担軽減 - 医療費負担の軽減	①
	障がい者支援	- 療育教育総合センターへの移動困難 - 公共交通利用に係るバリアフリーの拡充(心のバリアフリーを含む) - 特別支援学校が市外に立地(横須賀市、鎌倉市) - 児童発達支援・放課後等デイサービス施設に係る移動負担、施設側の送迎負担 - 医療的ケア児・重度障がい者の移動手段不足	- 療育・発達支援への適切な誘導 - 障がい者の外出促進・社会との接点の拡大 - インクルーシブな社会実現 - 自立した移動能力の向上 - 家族の介護負担軽減	①
	子育て支援	- ベビーカーでの移動(徒歩移動・公共交通移動)に不自由 - 子育て支援センター・こども発達支援センター・保健センター・体験学習施設スマイル・市内子育て施設への移動手段不足 - 保育園送迎による交通混雑 - 産前・産後の移動支援不足 - ファミリー・サポート・センター事業の需給ギャップ(担い手不足・高齢化)、送迎支援に対する負担の増加 - 子ども・子育て世代の孤立防止(居場所づくりと移動支援)	- 育児の孤立化防止 - 子育て世代の社会参加促進 - 生産年齢人口の増加 - 出産・育児期の生活の質向上 - ファミリー・サポート・センター事業における協力会員の負担軽減・需給マッチングの促進	①②

5. アンケート・ヒアリング調査結果総括

総合計画の柱	政策分野	問題点や課題	地域交通との連携により想定されるアウトカム	都市像への貢献
共に学び、ともに育つ「共育」のまち	教育・文化・スポーツ	・ 体育館・池子の森運動公園・保健センターへの移動手段不足、生涯学習機会の損失 ・ 福祉バス土日運休による体育館への移動手段不足 ・ イベント開催時の移動手段不足・渋滞 ・ 部活動地域展開時の学校から活動拠点への移動手段確保 ・ 子どもの習い事に係る移動手段不足、送迎負担	・ スポーツ・文化活動への参加促進 ・ 介護予防・フレイル予防効果向上 ・ 家族の送迎負担軽減	②
自然と人間を共に大切にするまち	自然共生	・ 自然の回廊プロジェクトの推進 ・ 公共交通をより使いやすくすることによる過度な自家用車依存からの脱却 ・ ゼロカーボンモビリティの活用(シェアサイクル等)	・ 自然に親しむ機会の創出 ・ 運輸由来のCO2削減	②
安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち	経済・観光・イベント	・ 花火大会時の長時間交通規制による住民移動制限・帰路渋滞 ・ 海水浴期間中シンボルロードでの車・歩行者混在 ・ 市民まつりシャトルバス運転手不足・乗り切れない状況 ・ ふるさと納税チョイスPayの売り上げが順調 ・ 小坪地区の道幅狭小・駐車場不足、海業との連携 ・ 各種催しでの来場者・出店者の移動手段確保困難 ・ シェアサイクルとの連携	・ 観光と住民生活の調和 ・ 周遊観光の促進 ・ イベント時の交通混雑緩和 ・ 消費の活性化(地域経済の活性化) ・ 交流人口・関係人口の拡大 ・ 海業振興による新たな観光資源創出	②
	デジタル推進・行政サービス	・ 高齢者のデジタルデバイス ・ デジタル相談会の継続開催と会場までの移動手段確保 ・ 「行かない」行政サービス実現 ・ マイナンバーカードと地域交通の連携	・ デジタルデバイス解消による移動手段確保 ・ 情報アクセス機会の公平性確保 ・ 行政サービスの効率化 ・ モビリティ・データそのものの付加価値向上	①②
	都市整備・まちづくり	・ 池田踏切、金沢新道踏切、池田通り交差点等での交通渋滞 ・ なぎさ通りの著しい交通渋滞、駅ロータリー機能不足 ・ 銀座通りでの路上駐車による交通渋滞 ・ 自転車マナー悪化(両側通行、歩道走行等)	・ バリアフリーの推進 ・ 歩行空間・滞留空間の確保(ウォークアブルな空間形成の推進) ・ 複数拠点化による自動車交通負担の軽減 ・ 自転車に係る事故・ヒヤリハットの減少	②
新しい地域の姿を示す市民主権のまち	地域コミュニティ・市民協働	・ 自治会・町内会の高齢化と担い手不足 ・ 送迎ボランティア養成講座への応募者不足 ・ 地域での活動機会の減少、活動機会へのアクセス困難 ・ 東逗子駅前用地活用事業に伴う沼間コミュニティセンターの移転	・ 地域コミュニティの活性化 ・ 世代を超えた交流促進 ・ 共助による持続可能な地域づくり ・ 地域課題解決力の向上	①②
	基地関連・国際交流	・ 米軍池子住宅地区居住者の自動車通勤による県道朝夕渋滞	・ 交通渋滞の緩和 ・ 交通事故減少による地域安全性向上 ・ 米軍関係者と地域住民の共生促進	②